



## 132号 『腎臓②』

2019年3月1日発行／編集責任者 田中 眞／毎月1日発行／群馬県藤岡市篠塚105-1  
<http://www.shinozuka-hp.or.jp/center/>

少しずつ暖かくなって過ごしやすくなってきました。今月も先月に続き腎臓のお話です。代表的な疾患についてご説明します。

◎**腎臓**…体内の余分な水分や老廃物を尿にして排泄する。腎臓の中の毛細血管が集まる場所「糸球体」で血液をろ過して尿が作られる。

### 腎臓の病気

腎臓の病気は病変の場所，原因，経過，顕微鏡の所見などによってさまざまな分類の仕方があります。今回はわかりやすくするために，原因と経過に着目した分類についてお話しします。

### 原因による分類

腎臓以外の場所には原因がみあたらない「一次性」と，他の病気や薬剤などによっておこる「続発性」の腎臓病があります。

「続発性」の代表的なものは糖尿病に伴う糖尿病性腎症（後述）や高血圧にともなっておこる「腎硬化症」（後述），膠原病（例えばSLE：全身性エリテマトーデス）にともなっておこる「ループス腎炎」などです。

表1：原因による分類

- ① 一次性：原因が明らかでない。
- ② 続発性：原因の病気が他の臓器にもある

### 経過による分類

大別すると，日から週の単位で進行する「急性腎炎症候群」と，年の単位で進行していく「慢性腎炎症候群」となります。

前者の代表的なものが溶連菌感染後急性腎炎症候群，後者の代表的なものが「IgA 腎症」です。

表2：経過による分類

- 1.急性腎炎症候群
- 2.慢性腎炎症候群

### 「ネフローゼ」？

時折耳にする言葉だと思いますが，なんとなく，「大変な腎臓病？」と考えていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

「ネフローゼ」は高度の蛋白尿によってむくみや低蛋白血症（血液中のたんぱく質が少ない状態）になったもので，原因となる疾患は膜性腎症（一次性の慢性腎臓病），糖尿病性腎症など多岐にわたります。「ネフローゼ」は症状，病態から様々な疾患をまとめた用語ということになります。

## 代表的な疾患

### 1. 溶連菌感染後腎炎症候群

子供や若い方に多い疾患で、溶連菌に感染して熱や咽頭痛などの上気道炎があった後、10日ほどして血尿やむくみ、蛋白尿、血圧上昇がみられるものです。続発性の急性腎炎ということになります。原因はA群β溶連菌です。

検査では強い血尿と蛋白尿をみとめます。多くは安静と水分・塩分制限などの食事療法をおこなうことでしばらくすると回復していきませんが、中には腎機能障害が長引くこともあり、上気道炎で内科にかかった後に「来月尿検査にきてください」といわれることがあるのは、この病気を心配してのものです。

### 2. IgA 腎症

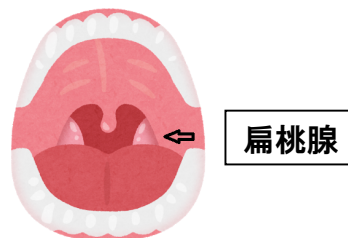
日本人に一番多い、原発性の慢性腎炎症候群です。10代後半から30代の若年者での発症が多いです。

健康診断などで血尿や蛋白尿を指摘されて偶然発見されることが多く、風邪を引いたときや胃腸炎をおこした時などに目でみてすぐわかるような血尿がでる方もいます。

IgA という免疫に関連する血中の蛋白が腎臓の糸球体に沈着したことでおきる炎症が原因です。

治療は安静と降圧薬、抗血小板薬の内服などですが、必要に応じて扁桃の摘出術とステロイドパルス療法（大量のステロイドの薬剤を短期間で投与する）がおこなわれることもあります。

「腎臓の病気なのになぜ扁桃腺を取るの？」と不思議に思われるかたもいらっしゃるかと思いますが、これは扁桃腺や口腔内の感染でIgA腎症をおこす異常なIgAが産生されているのではないかという説があるからです。



### 3. 腎硬化症

高血圧によって糸球体の硬化や尿細管の萎縮などがおこる、続発性の慢性腎炎症候群です。自覚症状はなく軽度蛋白尿程度の所見でとどまるものから、心不全や意識障害などを呈する重症のものもあります。

治療は程度に応じて生活習慣の改善、降圧薬の内服、点滴投与です。

### 4. 糖尿病性腎症

高血糖によっておこる腎障害で、糖尿病の三大合併症（網膜症、神経障害、腎障害）の一つです。糖尿病に長期罹患すると次第に尿にアルブミンが出現するようになり、進行すると持続性の蛋白尿になります。

治療は血糖コントロールや血圧管理で、病期が進むと透析が必要になる場合もあります。

\* \* \* \* \*

次回は近年増加している慢性腎臓病の治療（生活管理、食事療法、薬剤、透析など）についてお話します。

（文責：池田祥恵）